

同窓会だより

東京学芸大学附属竹早小学校同窓会

昭和62年9月26日発行

No. 7

昭和六二年度 総会が開催されます!!

たった六年間、附属竹早小という一つの舟に乗り合わせていただけの關係ですが、しばしの間、楽しき思い出を語り合いませんか?

本年は『新たな出会い』をテーマに同窓会総会を挙ります。今回は特にイベントを企画せず、もっぱら同窓生の皆様に懇親の席でご歓談い

〔日時〕

十一月八日(日)午後二時~四時半

総会・懇親会・福引

〔場所〕芝弥生会館

11階「ふじの間」☎4334-6884

〔会費〕

中学・高校生 三〇〇〇円

一般 五〇〇〇円

昭和一二年卒の会員三〇〇〇円

(いずれも維持費を含む)

〔ご招待者〕

▽現・旧職員

▽大正五年卒以前の会員

ただこうと考えました。

もし、顔見知りの方が見当たらないければ……、その場合には、昭和三五年卒業生がホスト・ホステスとしてご接待申し上げ、皆様の『新たな出会い』を責任もってお手伝いいたします。どうか奮ってご参加下さい。
*同窓会総会出欠の御返事は、十月二十日までにお願いいたします。



●国鉄……………浜松町駅(北口)下車 徒歩約7分
●地下鉄……………都営浅草線大門駅下車 徒歩約10分
■地下鉄銀座線ご利用の方は国電新橋駅でお乗りください。

同窓会理事長が交代!
本年、同窓会理事長が、今井繁雄氏から内藤裕次氏に交代しました。今井前理事長のご寄稿を以下に掲載します。(内藤新理事長の新任の抱負は一〇頁に掲載)

同窓会に想う
名誉顧問 今井繁雄

今春、私は母校東京府女子師範学校附属小学校尋常科(現竹早小学校)卒業満六十周年を迎えた。想えば昭和六年春ある事情で同窓会理事に推せんされ、以後戦時中の一時期中断はあったものの半世紀にわたり編集、会計担当理事を、また最近十余年間は故早川秋一先輩に代わって理事長の大役を無事果たすことが出来た。ここに終始ご支援助いただいた母校の諸先生、多数の会員各位に心から深謝の意を表したい。

当会は過去明治大正時の六、七百名の世帯からいま十倍に及ぶ会員を擁しこの間多彩な会員輩出により逐次発展のあゆみを続けている。戦後再興してから母校創立六十、七十、八十周年記念行事に呼応して、そのつど学校、PTA、竹早会などと協調、積極的に記念事業を遂行してきた。定期的活動としては年一回の総会をはじめ六年ごとの会員名簿、総

会通知をかねた会報の発行もようやく軌道に乗り、また近年発足した年次委員総会など会員相互のコミュニケーションをはかる機会も多くなっている。中学一年生から十九世紀生まれの高齢者までの老若男女からなる大世帯となった現在、同窓会を取りまとめ活性化することは容易ではなからう。執行部のメンバー若返りを機に、本格的会報の復活、音楽会映画会の開催などによりいっそう新旧同窓交流の円滑化を望んでやまない。

竹早の道程① 戦前の竹早小

わが附属竹早小学校は、戦前は「東京府女子師範学校附属小学校」と称していた(昭和一八年からは、国立に改組されたことに伴い、「東京第一師範学校女子部附属国民学校」と改称した)。本校の創始は、明治三三年(一九〇〇年)、現在の地に東京府女子師範学校が開設され、東京府師範学校附属小学校の校舎、児童を引き継いだことに始まる。学内には、尋常科(男女共学、修業年限六年、6歳~12歳)と高等科(女子のみ、修業年限二年、12歳~14歳)があった。尋常科と高等科は直接の關係はなく、それぞれ独自の教育が実施され、高等科の卒業生の多くは女子師範に進学した。